
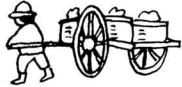


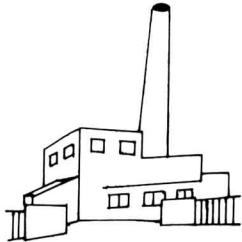


(2) ごみのしまつのうつりかわり

いつ	ごみのしまつの様子
町がごみ集めをする前まで	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 家ごとに庭や畑にうめたりもやしたりしていた。 
昭和20年頃	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 町の中にごみばこがおかれるようになり、リアカーで集められるようになった。 (家の多い旧三春町内だけ) ◦ 一本松にごみやき場ができた。 (3人の人たちが働いていた。ごみを集めたり、もやしたりする仕事のほかに、はいを売る仕事もしていた。) 
昭和25年頃	<ul style="list-style-type: none"> ◦ トラックで集められるようになった 
昭和35年頃	<ul style="list-style-type: none"> ◦ しゅうしゅう車でごみを集めはじめた。 
昭和45年頃	<ul style="list-style-type: none"> ◦ <small>ぬまのくら</small>沼倉にごみしょうきゃく場ができた。 (10tのごみをもやすことができるしょうきゃくろがつくられた。)
昭和55年頃	<ul style="list-style-type: none"> ◦ もえないごみは、三春町全部のものを集めるようになった。
昭和61年	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 今のせいそうセンターができた。 (20tのごみをもやすことができるしょうきゃくろがつくられた。) 
昭和62年	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 三春町全体の全部のごみを集めるようになった。